

平成17年6月定例会 一般質問一覧表

発言 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
1	大 月 健 一	<p>1 高梁中央図書館新設と郷土資料館について</p> <p>(1) 学園文化未来都市として市民の教育、文化、憩いの場所となる新図書館を建設したらと思うが如何お考えですか</p> <p>(2) 郷土資料で昭和30年代の街並みをつくったら如何か</p> <p>(3) 高齢者福祉に優しい駐車場を整備したら如何ですか</p> <p>2 消防の分駐所建設と自動体外式除細動器(AED)について</p> <p>(1) 合併前3箇所の計画であったが早期に建設予定があるか救急車の利用状況、救急車の有料化についての考えを問う</p> <p>(2) 岡山国体民泊に(AED)を設置して戴きたいが如何お考えか</p> <p>(3) 公共性の高い場所に置くことによって大切な人命を救う事が出来ると思うが如何ですか</p> <p>3 通信網の整備について</p> <p>(1) 川上地域、備中地域、ケーブルテレビの取り組み計画を早急に検討すべきでないか</p> <p>(2) 少子高齢化が進むため加入者が少なくなると思うが如何お考えかお伺い致します</p>
2	小 林 重 樹	<p>1 住民基本台帳の閲覧について、及び、病院、図書館等の診療者名簿、貸出し名簿の管理について</p> <p>(1) 今年4月より、施行された個人情報保護法により、個人の情報の公開という事が制限されています。これにより業者等による住民基本台帳の大量閲覧には行政側として、どのような対処をなされているのか、また、今後の取り組みについてもおたずねします</p>
3	玉 田 敏 明	<p>1 岡山自動車道、有漢ICの名称を高梁有漢ICと変更する</p> <p>(1) 名称を変更して、高梁という地名を全国発信する</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) 延長保育、3歳児保育、学童保育の方向性について</p>
4	山 縣 喜 義	<p>1 団塊世代の回帰支援について</p> <p>(1) 07～09には、団塊世代といわれる、1947～49年生まれの約700万人が定年を迎えるが、故郷回帰に対して、回帰支援センター設置等考えては</p> <p>2 森林整備に学生ボランティアの導入をしては</p> <p>(1) 昨年の台風23号による風倒木被害が多いが、2次災害の原因になる危険性があるが、一般作業等に学生ボラン</p>

		<p>ティアの利用を考えては</p> <p>3 まちづくり協議会の位置づけ、また、地域局長の権限について</p> <p>(1) 合併協議会の中では、「地域審議会」に代わるまちづくり協議会を設置するという事で合意したが、協議会委員の位置付け等がはっきりしないのでは</p> <p>(2) 地域局長の位置付けはあっても、相応の権限がなくては、十分な住民サービスが出来ていないのでは？</p>
5	細川 繁信	<p>1 子育て支援について</p> <p>(1) 子供たちの居場所、遊べる場について、もっと増やそうとする自治体の取り組みも全国的に広がりつつある。そんななか、子供たちのふれあい、親同士のふれあい、親と子供のふれあい、要するにコミュニケーションの図れる場所の提供である。単に遊びのスペースだけでなく、子供の視点、気持ちで考えることが必要である。近年は遊びの場が少ないため、家に籠る子供が増えているとも言われている。安全で自由に過ごせ遊べる場は、大人でも、誰にでも必要なもの。そこで、井谷公園には、公衆トイレはあるものの、遊具らしきものがない。せめて、2人乗りブランコ、シーソー、パーゴラぐらいは備え付け、遊びの場、ふれあいの場の環境の整備をしたら！</p> <p>2 風倒木処理の早急な着手について</p> <p>(1) 昨年相次いで襲来した台風がもたらした風倒木被害状況把握のため、月末町内を見廻ったが、只ただ無惨で言葉も出ない程。平成16年台風23号から7ヶ月が経過したが、殆んど処理されていない。特に大谷から中筋道路沿いの山には莫大な倒木が放置されている。これから梅雨に入り、木が流れたり、土砂崩れなどで二次災害の恐れも心配される。4月に各地域局で開催された町内会委員連絡会議でも多くの意見、要望があったと聞いているが、市としてどう対応するつもりか。要するに危険度の高い所から早急に着手しなければならないが、自力では処理不可能と思われる所もある様に感じている。倒木処理にあたって、所有者の負担軽減など支援策はないのか</p>
6	川上 博司	<p>1 チャイルドファースト社会を目指して子育て支援の更なる充実を</p> <p>(1) 妊婦バッジの配布・普及を図ること</p> <p>(2) 新婚・子育て世帯が市営住宅へ入居する際、入居に関する収入基準を緩和し、優先入居できるようにすること</p> <p>(3) 保育サービスの更なる充実を図るため、一時保育、病後</p>

		<p>児保育の導入について検討すること</p> <p>(4) 幼稚園の預かり保育について、地域格差の是正を図ること</p> <p>2 障害者福祉の更なる充実を</p> <p>(1) 呼吸器障害の在宅酸素療法への補助策を検討すること</p> <p>(2) 内部障害者への理解のため、公的場所へハートプラスの啓発マークを表示すること</p> <p>(3) 公共施設のトイレをオストメイト対応にすること</p> <p>3 学校給食の食物アレルギー対策について</p> <p>(1) 市共同調理場での除去食の対応を拡充すること</p> <p>4 高梁学園との公私協力について</p> <p>(1) 地元住民や一般車両、歩行者を悩ませる一部の学生による悪質なバイク、自動車の通行や不法駐車などに対し、どのように対処していくのか</p> <p>(2) 政策マネジメント学部や研究所、研究センターとの関わりなど、今後の協力体制をどのようにしていくべきと考えているのか</p>
7	仁 後 章 介	<p>1 水道料金の一本化を</p> <p>(1) 簡易水道料金と上水道料金は一本化できないのか</p> <p>(2) 一月の基本使用水量に満たない家族救済は考えられないか</p> <p>2 国保税の調整について</p> <p>(1) 税率をどのように調整するのか</p>
8	三 上 孝 子	<p>1 福祉行政について</p> <p>(1) 在宅患者、障害者施策の拡充を</p> <p>2 農林業振興について</p> <p>(1) 農業、林業振興をまちづくりの柱に</p> <p>3 地元業者の暮らし、営業を守って</p> <p>(1) 公共事業、官公需要の発注を地元業者優先に</p> <p>4 その他</p> <p>(1) NPO、ボランティア活動への支援策の充実を</p> <p>(2) 水道・下水道料金納付組合奨励金の廃止計画の撤回を</p>
9	宮 田 公 人	<p>1 地域医療について</p> <p>(1) 12月議会の健康福祉委員会で、市長は成羽病院改築に向けた委員会の設置について言及しているが、半年経った現在も委員会設置に向けた動きがない、その点につき経過説明を求める</p> <p>(2) 中山間地域における今後の医療のあり方は、尾道市御調町が提唱する「地域包括ケアシステム」或いは、保健・医療・福祉の連携による地域サポートにあると考えるが、川上診療所や民間病院の混在する本市に於いて、また、都市部の</p>

		<p>病院との関わりの中で、成羽病院の機能をどのように整備しようと考えているのか</p> <p>2 まちづくりの展開と地域市民センターのあり方について</p> <p>(1) 今後のまちづくり・地域運営において、担当課は旧高梁市の地域市民センター制度を取り入れて行く方針と聞かすが、旧高梁市の10地区の運営費について、新たにアップーリミット（例えば200万円を上限とするなど）を設定し、各地域の予算要求に応じた予算編成をすべきではないか</p> <p>(2) 市民センターの基本的な運営費（ランニングコスト）を設定することは取りも直さず地域運営の経費的物差しを設定することに他ならない。旧町にもまちづくり推進委員会のシステムを導入して行くのなら、こうした基準値をもとに、予算配分のばらつきを是正することが必要と考える</p> <p>(3) 地域振興基金の枠、具体的活用方法等の議論が棚上げにされたまま運用されているが、どの様になるうとも、きちっと議論し方針を決定すべきではないか？</p> <p>(4) 現在の地域市民センターの業務は、創設時からすると格段に増えている。事務量からして、また地域住民へのサービスの向上という観点から、正規の若手職員を配置することを要望する</p> <p>3 総合計画について</p> <p>(1) 現在の事務処理の進捗状況はどの様になっているか経過説明を求める</p>
10	三谷 實	<p>1 合併特例基金とまちづくり協議会について</p> <p>(1) 基金の運用について</p> <p>現在の運用手法は、合法的かつ適正なものか</p> <p>基金の運用規定（各地区への配分、運用期間、運用制約等）が、関係者が統一認識がなされているのか。問題があるのではないか</p> <p>まちづくり協議会と基金が、どのような位置づけと認識がなされているのか</p> <p>ここでいう「まちづくり」の定義はどのようなものなのか</p> <p>基金運用については、白紙にもどし、再度、検討をする考えはないか</p> <p>2 新高梁市における商工観光行政について</p> <p>(1) 新高梁市の一体性ある観光、商工政策はいかにあるべきかを問う</p> <p>市長の重要政策として指導力を発揮し、スタッフを充</p>

		<p>実させ、観光の戦略、戦術を企てる必要があるのではないか</p> <p>一例として、新高梁の観光の一体感を醸成させるため、高梁駅から吹屋への急行（直行）バスの運行は考えられないか</p> <p>商工会議所、商工会。各観光協会の統一。その所在地の位置、活用を考えてみてはどうか</p>
1 1	妹 尾 直 言	<p>1 農業政策の具体的推進について</p> <p>(1) 高梁市の認定農業者等の横のつながり、組織化に対して、市行政として積極的に取り組む必要があるのではないか</p> <p>(2) 旧川上町のモデル農場、堆肥供給センターの運営を財団法人成羽町振興公社で行うなど整理統合を行い、効率化を考える必要があるのではないのでしょうか</p> <p>2 市道・農道・林道の抜本的な見直しについて</p> <p>(1) 合併時に専門部会において検討がなされ、条例では統一はされていますが、まだまだ、旧市町間においてバラバラなところがあります</p> <p>そのことによって生活道の整備・災害復旧において負担金の問題等で不公平が起きております</p> <p>早急に見直しをする必要があるのではないのでしょうか</p>
1 2	柳 井 正 昭	<p>1 市民との対話集会について</p> <p>(1) 旧高梁市 10ヶ所、成羽 4ヶ所、有漢、川上、備中でそれぞれ 1ヶ所、住民代表と意見要望等を聞いて回られた結果と感想について</p> <p>2 合併協定の責任について</p> <p>(1) 新市建設計画の長期的、大型プロジェクトのスケジュール（市役所、図書館、病院、駅前の整備、消防分駐所）が、今の段階で少しでも進んでいるのか</p> <p>3 合併後の産業振興</p> <p>(1) 農産物のブランド化、観光地の連携、企業誘致（地元出身者の協力を得て）もてる資源を生かして取り組みたいと市長はおっしゃっているが！</p> <p>4 農業振興公社について</p> <p>(1) 荒廃した農地を見て残念でしかたない。国、県の補助金のカットは厳しいものがあるが市としても農業者の要請があれば、十分に考えなければならないのではないのか</p>
1 3	植 田 二 郎	<p>1 新市の計画元年に当たって</p> <p>(1) 三位一体（税制改正）の行方をどう分析するのか</p> <p>(2) 財政基盤の確立について</p> <p>(3) 新市における経済・産業施策について</p>

		<p>(4) 公共交通のあり方について</p> <p>2 教育現場の課題について</p> <p>(1) 血液検査について</p> <p>(2) 予防接種について</p> <p>(3) フッ素洗口について</p>
14	丸山茂紀	<p>1 行政経費の節減について</p> <p>(1) 地方公務員の給与制度の透明化と地域に準じた待遇に</p> <p>2 市立成羽病院について</p> <p>(1) 365日に対応に</p> <p>(2) 市立病院はサービスを提供して、満足のいく安心感の向上を</p> <p>(3) ジェネリックについて</p>
15	田中広二	<p>1 振興公社の展望と農地保全のあり方</p> <p>(1) 農業が果たす役割と現状について</p> <p>(2) 農地と国土保全はどうか</p> <p>(3) 振興公社の現状と見直しについて</p> <p>(4) 財政支援のあり方について</p> <p>2 中山間地域の水不足の現状は</p> <p>(1) 異常な気象で近年にない農用水不足が発生している現状と対策についての具体案について</p> <p>3 介護保険制度の見直し案について</p> <p>(1) 介護保険法等の一部改正の法律案の中での予防重視型システム他の現時点での 新予防給付について 地域支援事業について 他改正の概要について</p>
16	田島 肇	<p>1 中山間地等直接払いの新規取り組みについて</p> <p>(1) 本年度から2期目の取り組みに入り、前期に増し、より高度な活動をする事によって従来通りの交付が受けられる内容になっており、協定集落に対し、可能な限り具体的指導を望みます</p> <p>2 避難場所の施設改善について</p> <p>(1) 現在、公的な施設が避難場所となっていますが、施設自体に改善を要する場所もある。中でも農村生活改善センターは築後かなりの年月が経っており、トイレの改修等は急務であり、必要備品の設置と同時に改善をすべきと考えます</p>